



6/10

2万人が祝福、キングス優勝パレード

6/5

プロバスケットリーグ初優勝を報告

6月5日、プロバスケットボールリーグ初優勝を果たした琉球ゴールデンキングスの選手らが、優勝報告のため、市役所を訪れました。訪れたのは、桶谷大ヘッドコーチや田代直希キャプテンら選手12名と関係者。報告を受けた桑江市長は、「優勝が県民の誇りとなった」と絶賛しました。ジャック・クーリー選手は、「最高のファンのために優勝できたことを嬉しく思っている」とコメントしました。また、10日には優勝パレード及び報告会がコザゲート通りなどで行われました。約2万2千人のファンが沿道を埋め、初優勝を誉め称えました。



5/17

バスケW杯を前にスロベニア料理

FIBAバスケットボールワールドカップ2023の大会100日前を記念し、W杯出場国に関連した料理が市内一部の小中学校で給食として提供されました。メニューは、沖縄グループステージに出場するスロベニアの料理「肉と野菜を煮込んだゴラージュ」「ハムとチーズを挟み揚げたシュニツェル」「スロベニア風サラダ」など。高原小学校の児童からは「いつもの給食と違って初めて食べた味、海外の料理をまた食べたい」「家族とスロベニアの試合を見るのが楽しみ」と喜びの声が聞こえてきました。



5/26

「FIBA盛り上げ隊」発足!

8月に沖縄アリーナにて開催される「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」開催に向けた機運を盛り上げようと、沖縄市、宜野湾市、浦添市、うるま市の市議会議員ら有志により「FIBA盛り上げ隊」が発足しました。FIBA盛り上げ隊では、バスケットボールクリニック等を開催し、県内のミニバスケットボールの強化、普及、発展を目指します。実行委員長の濱崎早人さん(浦添市議会議員)は、「地域社会と連携し、ミニバスケットボールを通して子どもの健全育成に貢献していきたい」と話しました。



6/4

未来のスター選手に、バスケットクリニック

沖縄市体育館において、FIBA盛り上げ隊主催によるドリームプロジェクトバスケットボールクリニック2023が開催されました。沖縄市、宜野湾市、浦添市の小学校から選ばれた6年生の男女90名が参加し、バスケットボール選手として活躍を見せた安谷屋陽子さんらクリニックコーチが指導にあたりました。今年8月に沖縄市の沖縄アリーナを会場に開催されるFIBAバスケットボールワールドカップ2023に向けて、県内のバスケットボール熱が高まっています。



5/9

かりゆしシニア大学入学式

かりゆしシニア大学の第6期入学式が、沖縄市社会福祉センターで執り行われました。

「楽しんで学び 輝いて暮らす」を学習テーマに開学しているかりゆしシニア大学は、平成28年度に老人クラブの会員が学ぶ、教える機会を設ける目的で設置され、これまで延べ208人が卒業しています。

今期は、70歳から87歳までの24人が入学を果たし、来年1月までの間、月2回の講義を受講します。



5/9

ジャーマンケーキ、新パッケージで県外へ

のぼりや製菓有限会社は、沖縄市新商品開発等支援事業補助金を活用し、食べやすい個包装タイプで、コザらしいパッケージのジャーマンケーキを新たに開発しました。

のぼりや製菓の與座美香社長らが桑江市長を表敬し、発売開始の報告を行いました。與座社長は、「ローカルスイーツとして県内で展開しているが、県外ではまだ認知度の低いジャーマンケーキを発信していきたい」と話しました。



5/9

赤十字奉仕団 会員増強運動出発式

赤十字活動の更なる強化を図るため、市役所1階ロビーにて沖縄市赤十字奉仕団会員増強運動出発式が行われました。

沖縄市赤十字奉仕団の仲宗根吉子委員長は「支援活動を続けるため、一人でも多くの方に赤十字会員になっていただけるよう努めます」とあいさつしました。

平安市民部長より激励の言葉が送られ、今年度の赤十字会員第一号として会費を贈呈しました。



5/12

魚をもっと好きに♪「親子料理教室」

魚を身近に感じてもらい、食への興味を広げる食育の推進のため、市内の親子を対象に料理教室が開催されました。沖縄市漁業協同組合（パヤオ）でセリと魚の捌き方を見学後、沖縄市福祉文化プラザに移動し、泡瀬産のもずくと、シイラを使ったメニューを料理し、試食を行いました。

参加した子ども達は、一緒に料理に参加することで食事のおいしさ、楽しさがより大きくなることを実感した様子でした。



5/12

自治会長および公民館長ら、新体制を報告

沖縄市自治会長協議会と沖縄市自治公民館長連絡協議会の会長及び役員らが令和5年度新任役員への報告のため、桑江市長を表敬しました。

沖縄市自治会長協議会の幸喜愛会長は、「行政の末端である自治会長らで地域の安心、安全を守り、市の行事等を盛り上げていきたい。37自治会中11自治会が女性会長となっており、女性の数が増えることで和合のとれた組織にしていきたい」と話しました。



5/13~14

県外強豪校との白熱した交流試合

令和5年度沖縄市高等学校野球県外招待交流試合が、コザしんきんスタジアムで行われました。

高校野球界の名門として知られる岩手県の花巻東高等学校を招き、沖縄市からは日本ウェルネス高等学校、美里高等学校、美里工業高等学校、コザ高等学校の計5校が試合を行いました。

試合結果は、花巻東高等学校が4戦全勝しました。



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ



5/18~19 第132回九州市長会開催される

九州、沖縄の市長が地域の課題について話し合う第132回九州市長会が、沖縄アリーナで開催され、九州115市の市長らが参加しました。総会では、開催地沖縄市の桑江市長が議長となり議事の進行を執り行いました。

この他、意見交換会や行政視察などが行われ、沖縄市を首長らに広く知ってもらう機会にもなりました。



5/26 博物館への寄贈者にお礼状贈呈

令和4年度に市立郷土博物館に資料を寄贈した方へのお礼状贈呈式が開催され、「メイド課程修了証」を寄贈した井口学さんに久場館長からお礼状が手渡されました。

この他にもパナマ帽やアダン葉帽などの帽子を作るための「ボウシカタ」、馬に人を乗せるための鞍など市民らから寄贈されたものや博物館で採集した計47点が展示されました。



5/29 県内最年少防災士と避難所設営を学ぶ

12歳で県内最年少の防災士となった沖縄東中学校2年生の喜友名朝陽さんとNPO法人防災サポート沖縄の長堂政美理事長が高原小学校を訪れ、防災クラブの講師を務めました。

防災クラブ所属の小学4年生~6年生へ簡易トイレ、簡易テント、空気式マットレス等の設営方法を実演。児童らは一緒に楽しみながら組み立て作業を行い、避難所設営について学びました。



5/30 沖縄行政評価事務所長より感謝状贈呈

令和3年度から沖縄市の行政委員として精力的に活動している謝花誉幸さんと大城信男さんへ、沖縄行政評価事務所長より感謝状が贈呈されました。

謝花さんは「今後も市民と行政の架け橋になれるよう頑張りたい」、大城さんは「市民の声をひとつでも多く行政に届けていきたい」と話しました。



6/5 コロナ禍の感染拡大防止に貢献

新型コロナウイルス感染症の家庭内感染拡大防止事業に協力したホテル事業者への感謝状贈呈式が、市役所で行われました。

沖縄市コザホテル組合の伊波勇組長、合名会社ピーシー商事の新崎好子代表社員、有限会社池宮商事の池宮城正樹代表取締役へ、桑江市長より感謝状を贈呈し、「皆さまのおかげで、沖縄市は迅速に家庭内感染拡大の対応ができた」と感謝の言葉を伝えました。



6/5 ピッチャーで日本代表に選出!

中学生野球チーム宜野湾ポニーズの高良優太選手(安慶田中3年)が市役所を訪れ、「アジアパシフィックゾーン チャンピオンシップ トーナメント」コルト(U-16)部門の日本代表にピッチャーとして選出されたことを桑江市長に報告しました。

高良選手は「自分らしく動じない思い切ったピッチングができるように頑張ります」と目標を話しました。

